

国土を守る。地域を守る。



# 会社説明会【平成27年6月期】

*Technology*  
～基本は技術～

*Original*  
～創意～

*Stakeholder*  
～信頼・満足～

JASDAQ:9608

株式会社 福山コンサルタント 2015.9.2

## 目次

1. 第53期(平成27年6月期)決算
2. 第54期(平成28年6月期)の業績予想等
3. 第3次長期プランの進捗状況(～H31.6月期)
4. 事業展開事例

本資料並びに本説明会の説明には、当社(連結子会社を含む)の現在の計画、戦略等のうち、過去の事実以外のものは当社の将来の業績に関する見通しの記述であり、現在入手可能な情報に基づく仮定や判断に基づいてるため、将来における当社の業績や事業活動とは異なる可能性があります。

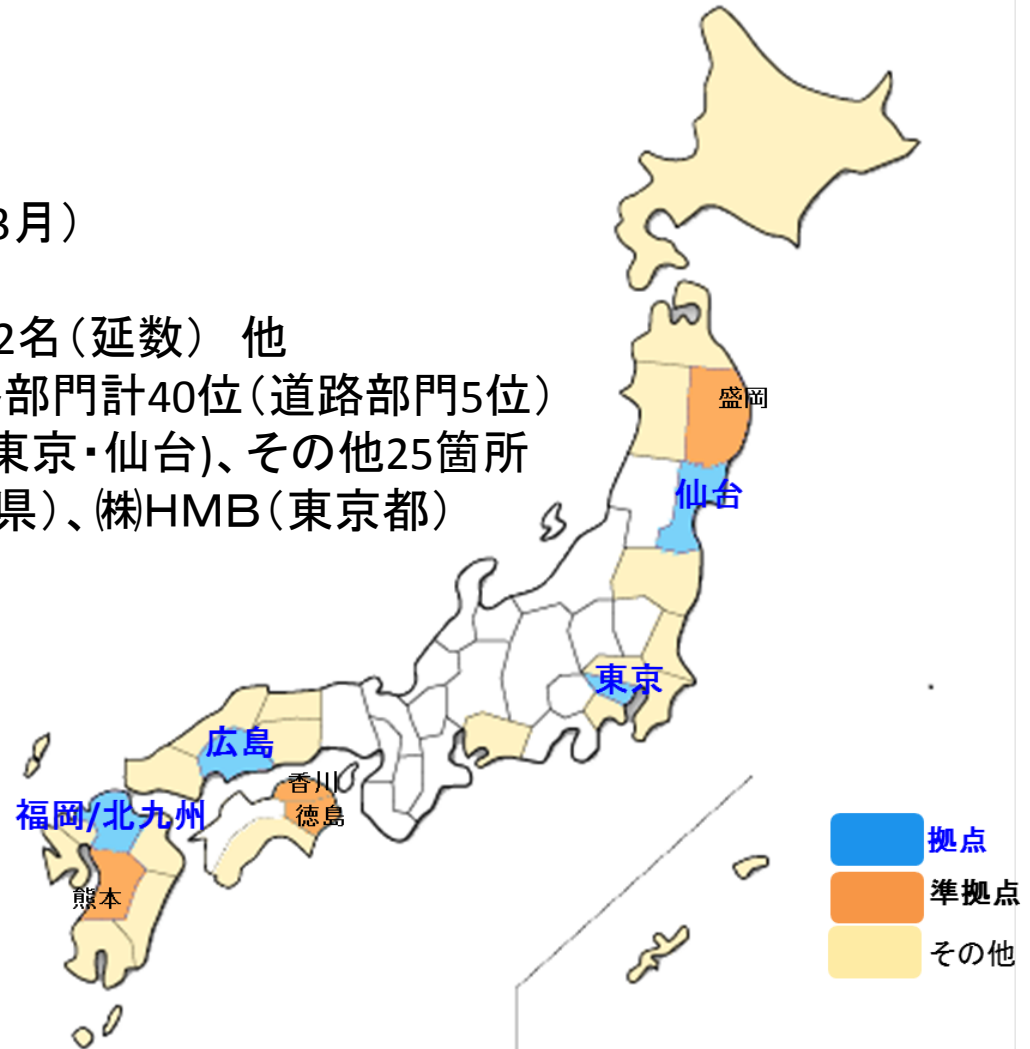
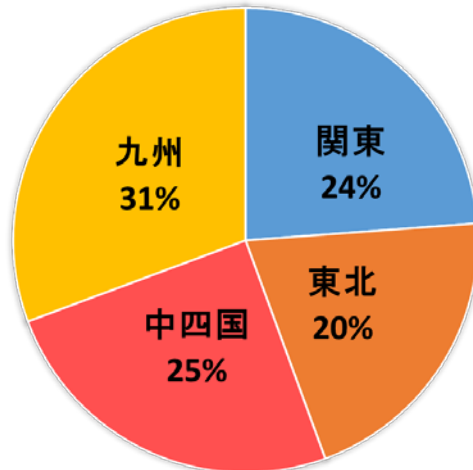
IRに関するお問い合わせ: 株式会社福山コンサルタント 管理本部  
092-471-0211 [ir@fukuyamaconsul.co.jp](mailto:ir@fukuyamaconsul.co.jp) <http://www.fukuyamaconsul.co.jp>

# 株式会社 福山コンサルタントの概要

## 本社(福岡市)

- ◇創業:1949年3月1日
- ◇資本金:589百万円
- ◇業種:建設コンサルタント業
- ◇上場市場:東証ジャスダック(1995年3月)
- ◇役職員数:238名(他契約社員177名)
- ◇有資格者:工学博士12名、技術士192名(延数) 他
- ◇売上高業界順位:建設コンサルタント部門計40位(道路部門5位)
- ◇事業所:5拠点(福岡・北九州・広島・東京・仙台)、その他25箇所
- ◇連結子会社:2社、(株)環境防災(徳島県)、(株)HMB(東京都)

## 地域別売上高構成比(連結)



## 1. (1)平成27年6月期決算実績① (連結損益計算書)

受注高△1%、売上高△2%、経常利益△12%、当期純利益+81% (前期比)

【単位:百万円】

	H26.6月期	H27.6月期	増減	
受注高	9,358	9,284	△73	△1%
生産高	6,710	6,649	△60	△1%
売上高	6,144	6,047	△97	△2%
(単独)	(5,507)	(5,346)	(△160)	(△3%)
営業利益	404	357	△46	△12%
経常利益	405	355	△49	△12%
当期純利益	139	253	+113	+81%

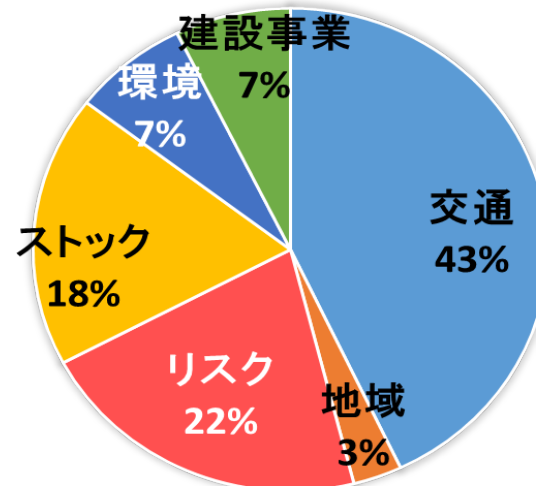
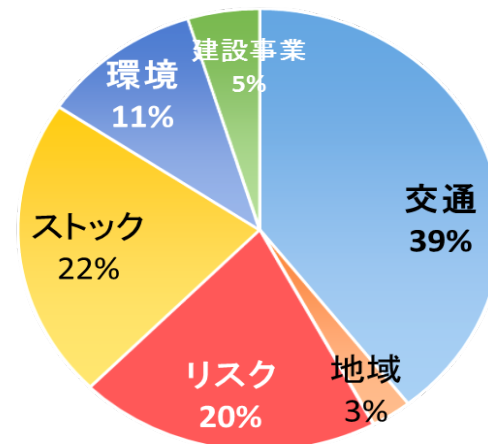
## 1. (1) 平成27年6月期決算実績② (分野別連結受注高)

交通M(マネジメント)、リスクM、建設事業Mの受注が堅調に推移

【単位:百万円】

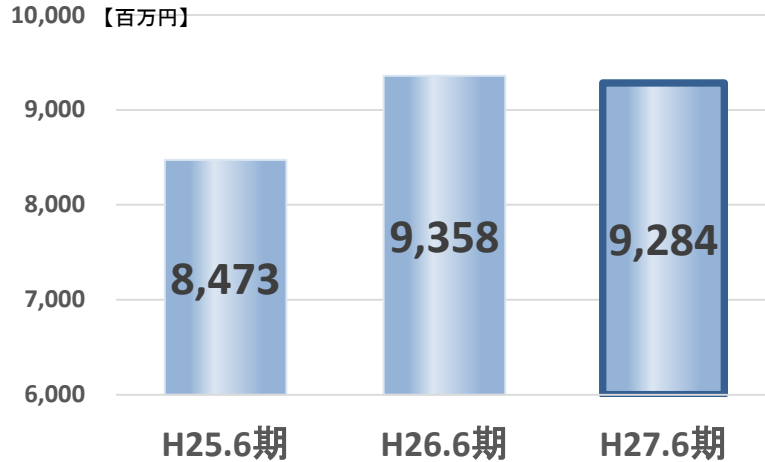
	H26.6月期	H27.6月期	増減
交通M	3,693	3,988	+294
地域M	253	285	+31
リスクM	1,887	1,968	+80
ストックM	2,063	1,689	△374
環境M	1,013	677	△336
建設事業M	445	675	+230
合計	9,358	9,284	△73

分野別構成比

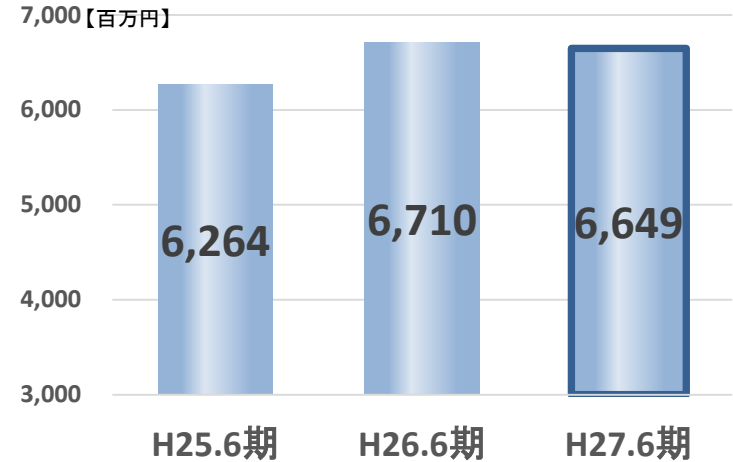


## 1. (2) 決算実績の推移① (連結)

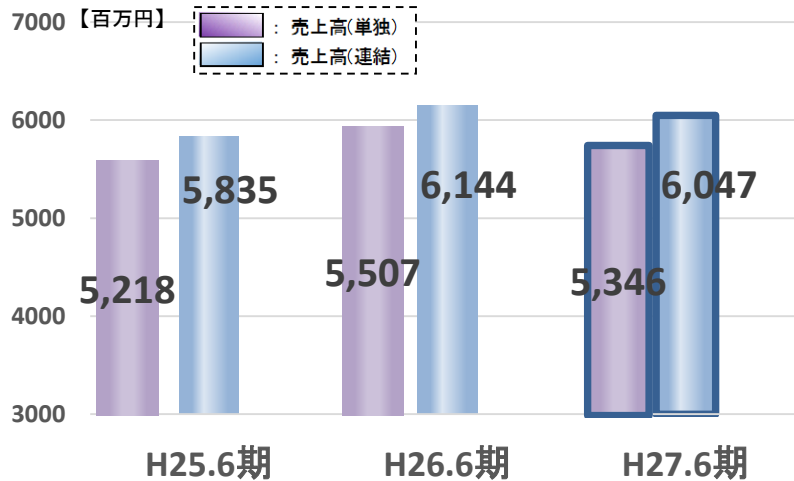
## 受注高(連結)



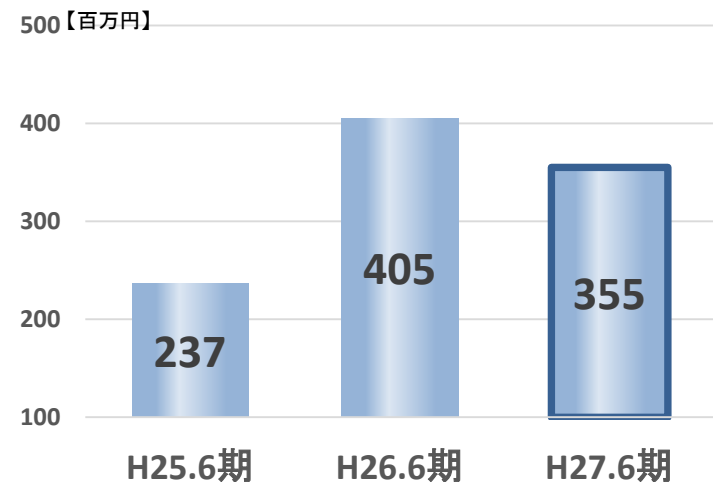
## 生産高(連結)



## 売上高(単独/連結)

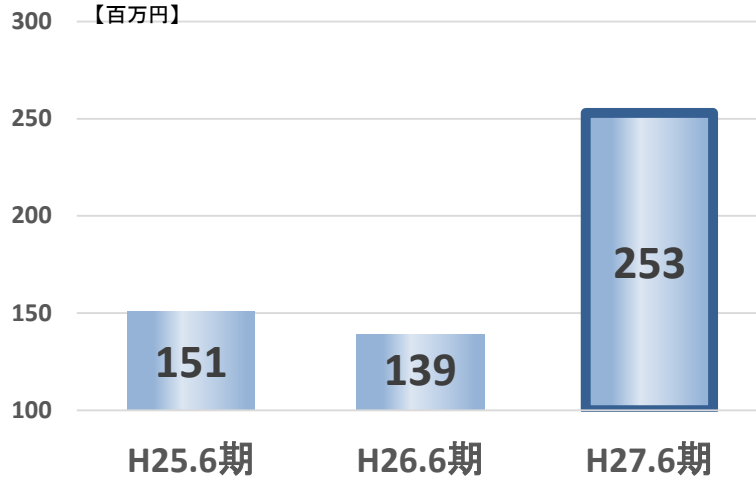


## 経常利益(連結)

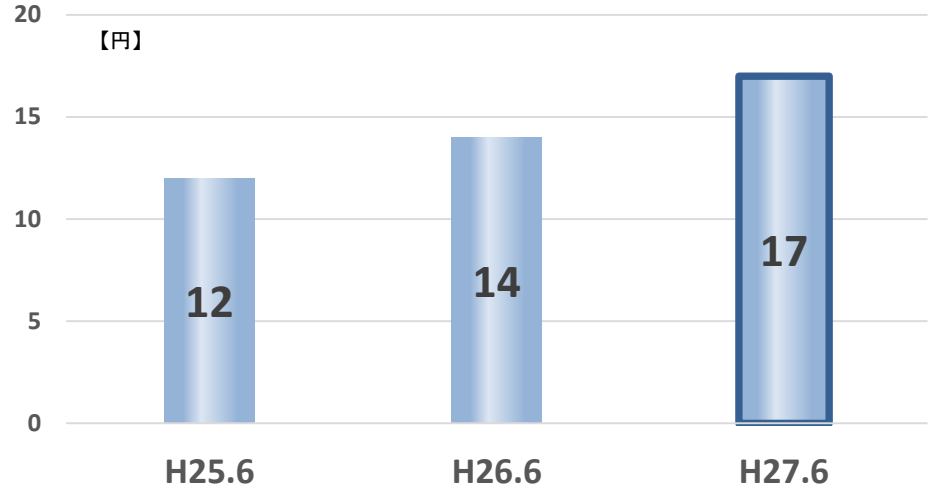


# 1. (3) 決算実績の推移② (連結)

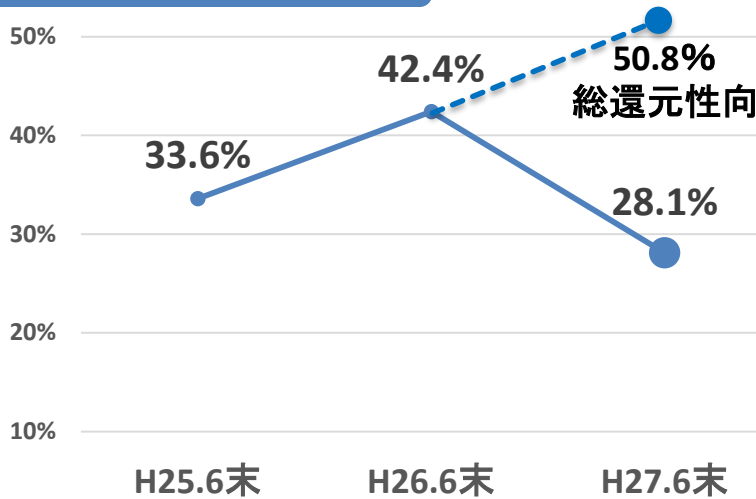
## 当期純利益



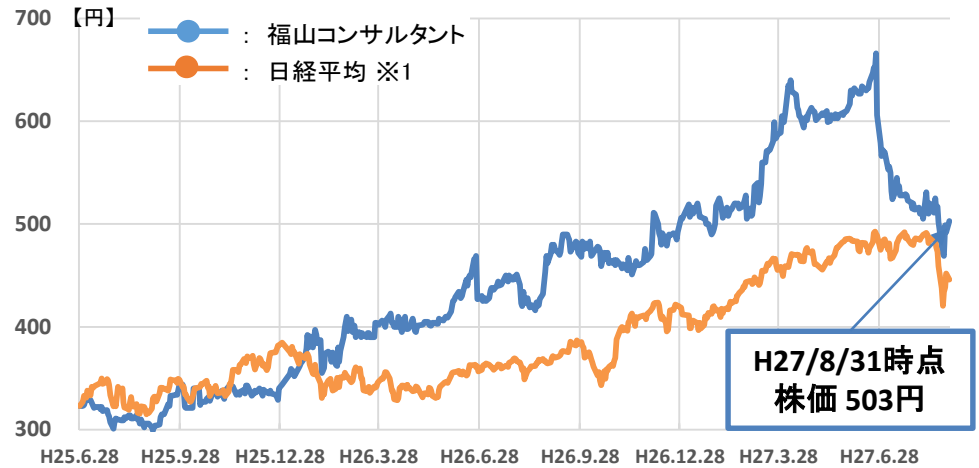
## 配当



## 配当性向



## 株価



※1 : 日経平均株価は、H25.6.28株価を初期値として指数化して表示

## 2. (1)平成28年度6月期 業績予想 (連結)

## 売上増、経常増益予想

【単位:百万円】

	H27.6月期 実績	H28.6月期 予想	増減
受注高	9,284	-	
生産高	6,649	-	
売上高	6,047	6,300	+252
営業利益	357	360	+2
経常利益	355	360	+4
当期純利益	253	170	△83
配当	17 (記念配2円)	15	△2

## 分野別売上高

【単位:百万円】

	H27.6月期 実績	H28.6月期 見通し	増減
交通M	2,690	2,700	+9
地域M	181	200	+18
リスクM	1,318	1,500	+181
ストックM	1,115	1,120	+4
環境M	519	450	△69
建設事業M	222	330	+107
合計	6,047	6,300	+252

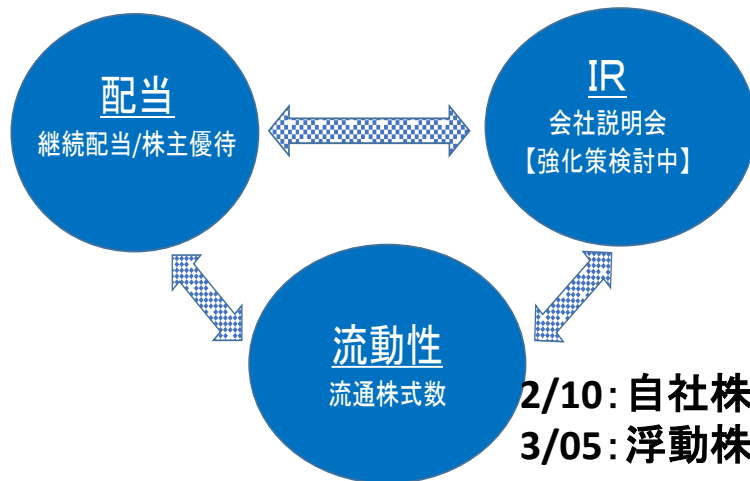
●直近の受注量(8月末速報)

・前年同期比15%増(交通M、リスクM、建設事業Mが堅調)

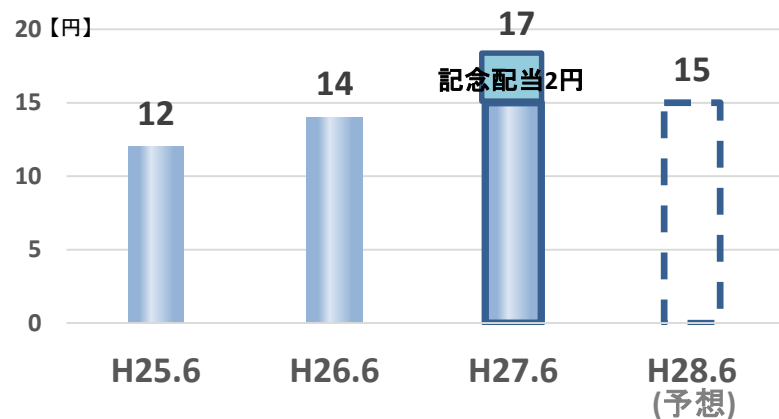


## 2. (2) 株式関連施策

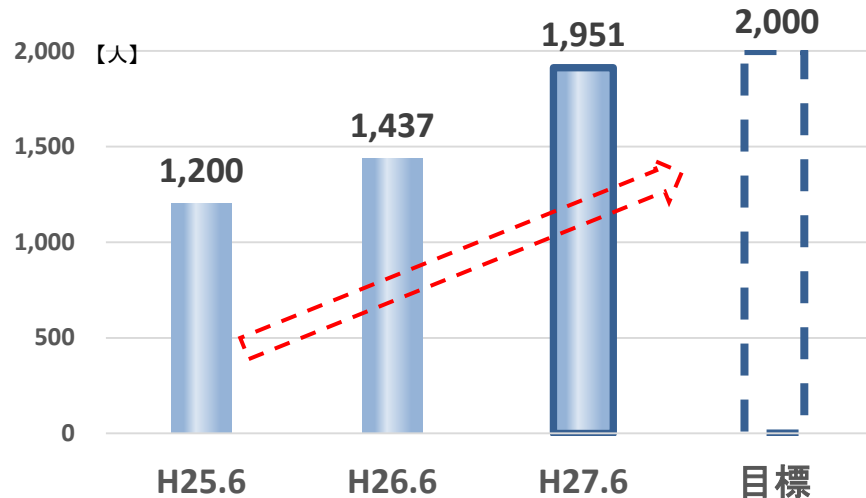
### 継続配当・優待、IR説明会、流動性向上策



配当

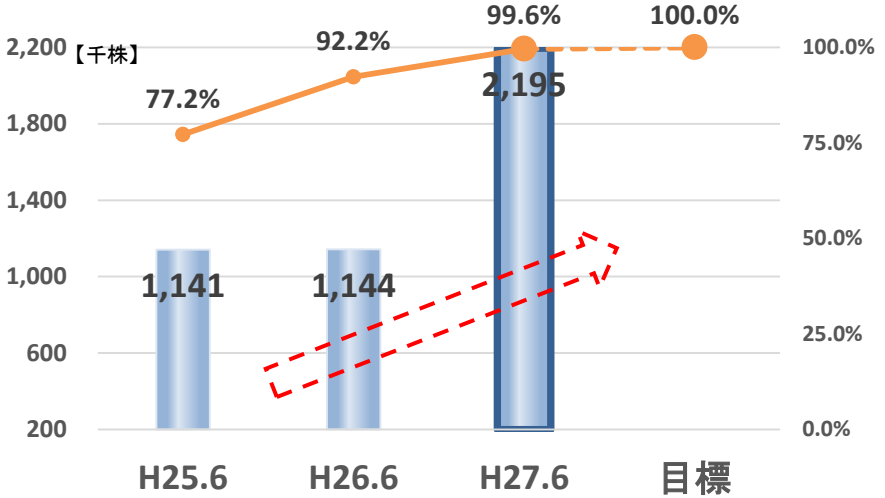


株主数



値付け率/売買高

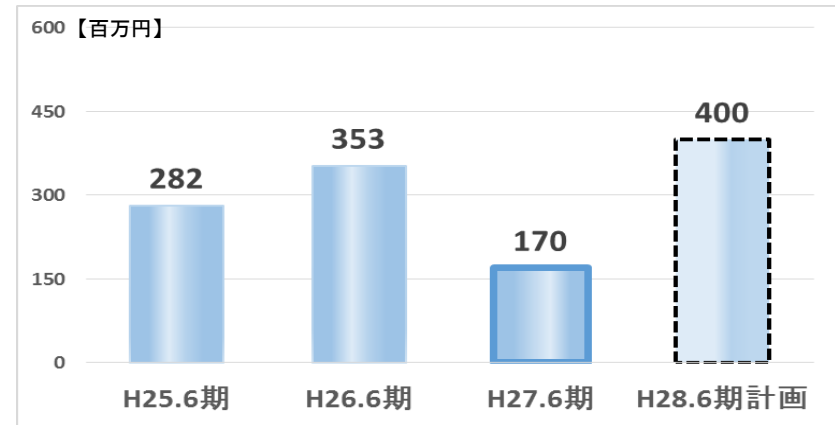
■ : 売買高 (左軸:千株)  
● : 値付け率 (右軸:%)



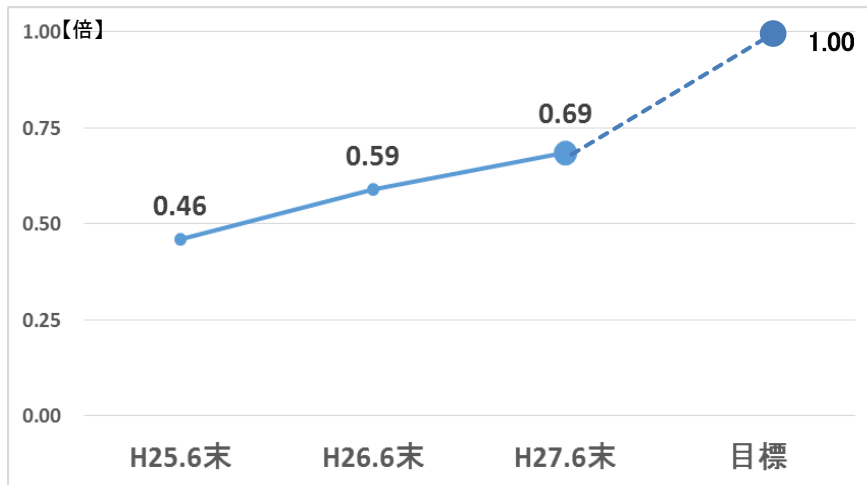
## 2. (3) その他財務指標と目標値

連結指標	H27.6実績	H28.6計画等
営業CF	170百万円	400百万円
PBR	0.69倍	1.0倍目標
ROE	7.7%	7.0%超
ROA	5.5%	5.0%超

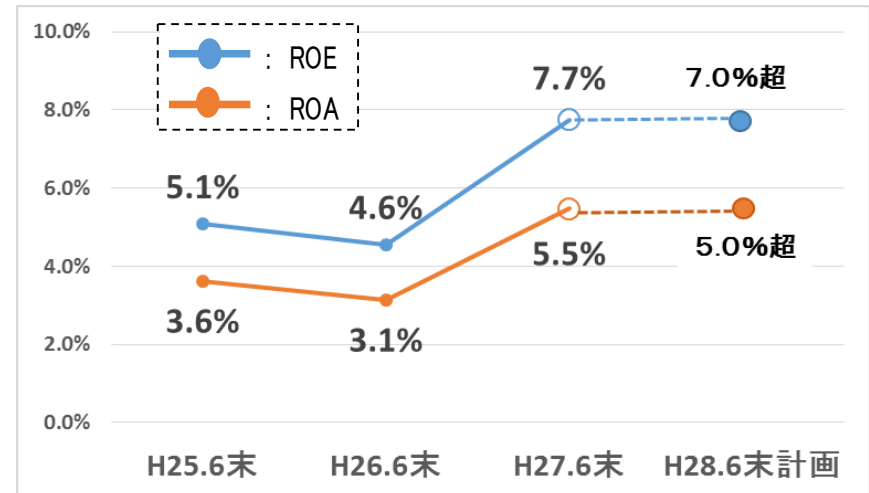
### 営業CF



### PBR



### ROE/ROA



### 3. 第3次長期プラン① 成長戦略(デュアルモード戦略) 【中間年次】

◇創業70周年を通過点に、持続的成長モデルの構築

- ・ 長期プランの再編成中(55期よりVer.2始動)
- ・ コーポレート・ガバナンス・コード、会社法改正等への対応も逐次対応中

第3次長期プラン(計画期間6年)

中期(前半)

長期(後半)

創業  
70周年

52期

53期

54期  
H28.6期

55期  
H29.6期

56期  
H30.6期

57期  
H31.6期

公共  
投資  
環境

公共投資予算の規模

財政出動重点期

財政出動安定期

中期モード:生産力/生産体制の拡充  
⇒建設コンサルタント事業の強化

既存事業の比較優位性確保活動 (事業)  
顧客満足度の継続的向上  
社員満足度の継続的向上

戦略

デュアルモード  
(中期・長期:同時稼働)

モードの統合  
⇒企業集団の進化(HD化)

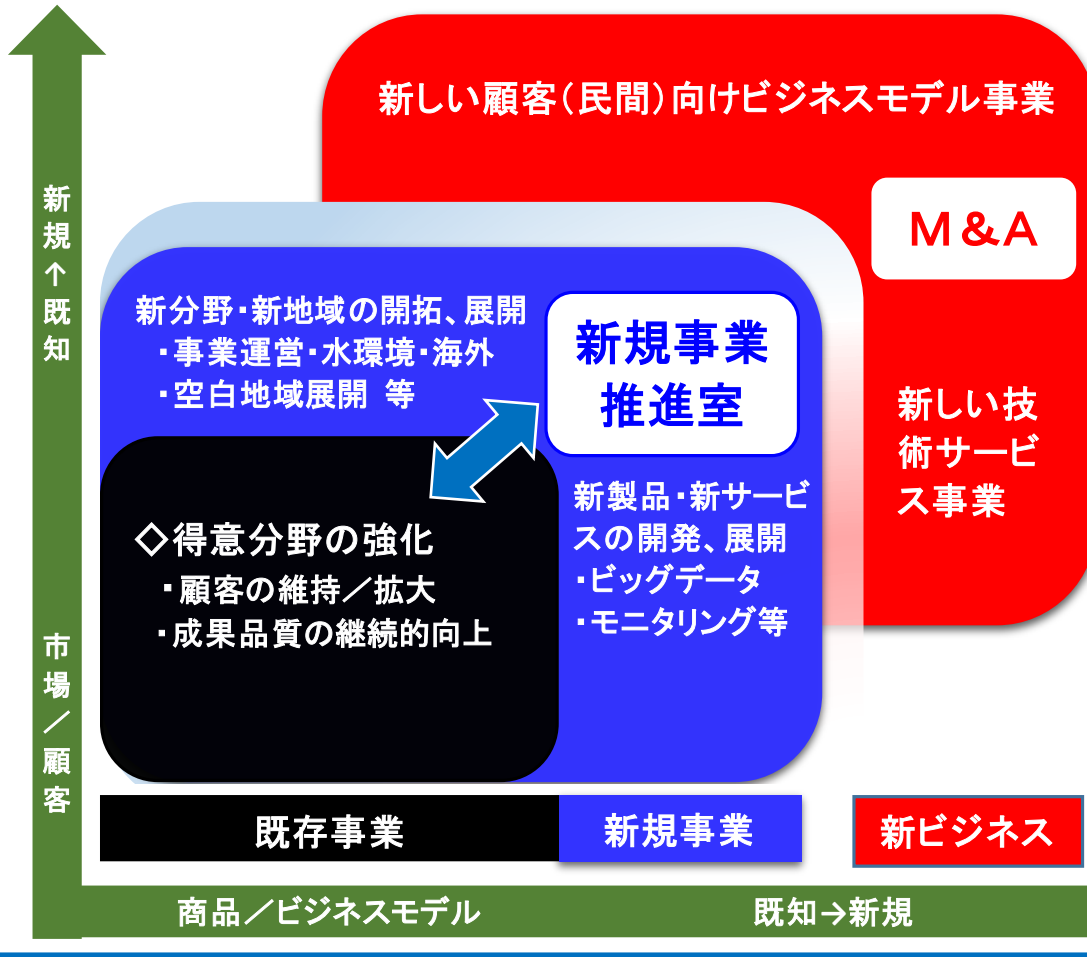
長期モード:持続的成長モデルの構築  
⇒新ビジネス領域事業の獲得(BCP)

継続的戦略立案/実行活動 (経営)  
上場会社としての使命と役割  
コーポレート・イノベーションシステム

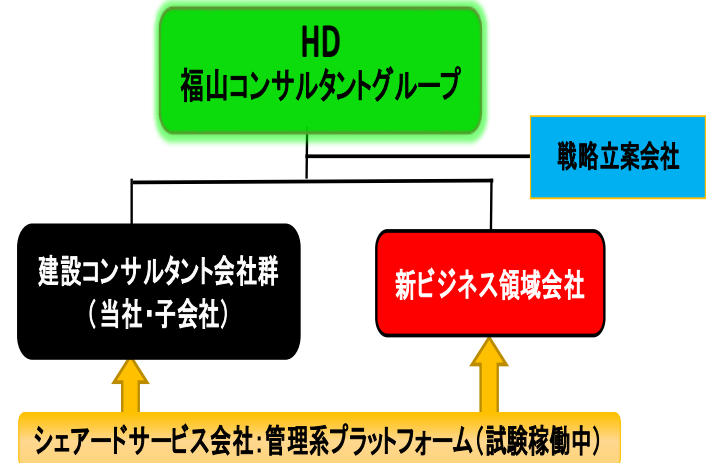
### 3. 第3次長期プラン② ビジネス領域と運営組織、投資計画

- ◇中期:建設コンサルタント事業の強化、新分野・新技術展開 (コア事業の強化)
- ◇長期:新ビジネス領域の事業獲得 (もうひとつのコア事業)

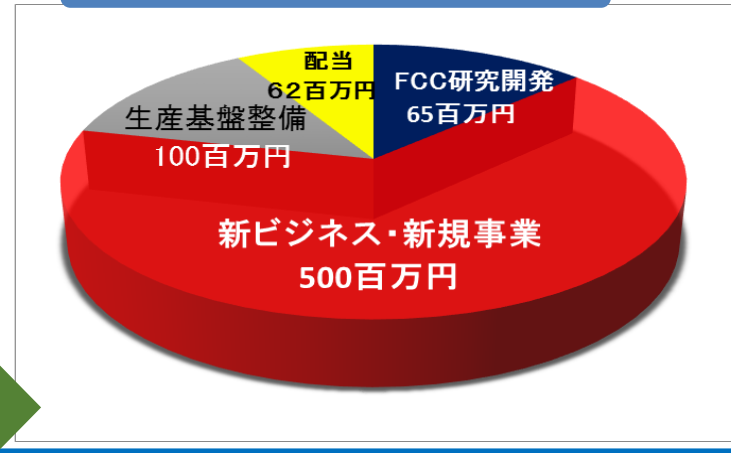
#### ビジネス領域



#### 運営組織の方向性

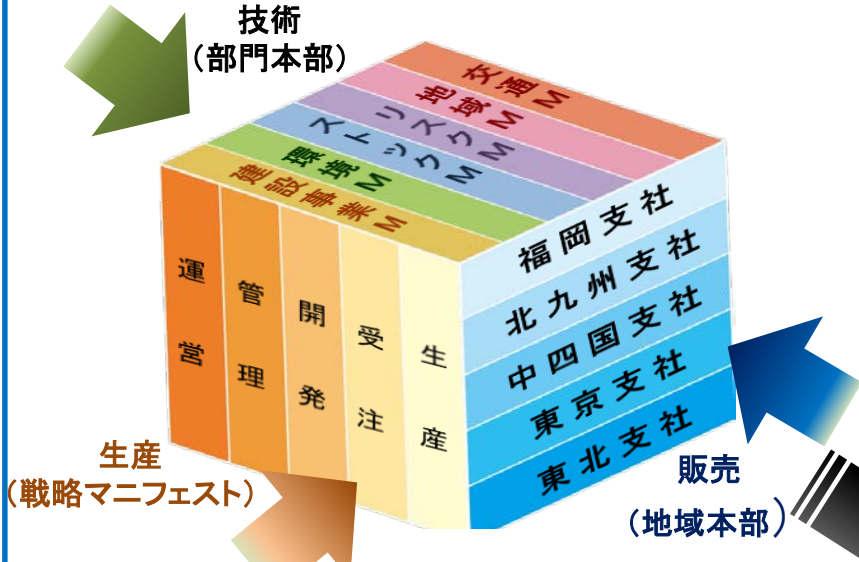


#### 投資等計画



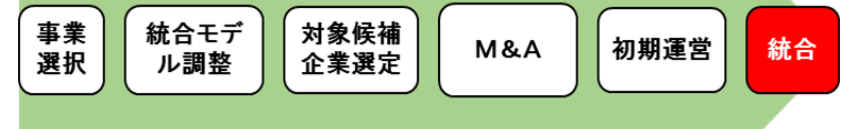
### 3. 第3次長期プラン③ 経営計画達成のイノベーション・エンジンと目標値

**継続：マトリックス型組織（既存事業エンジン）**

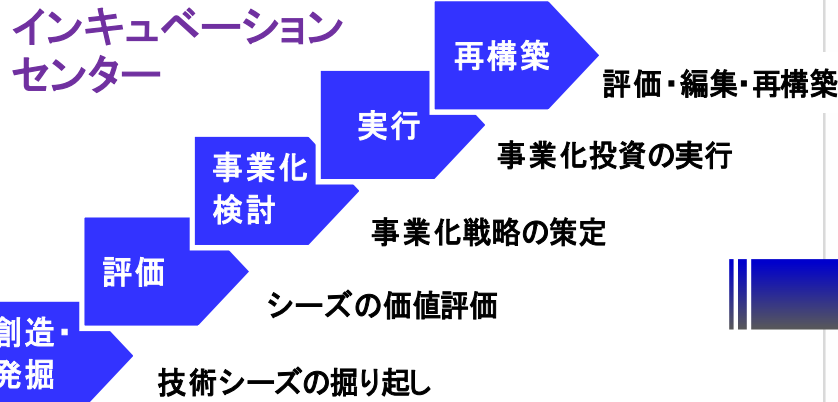


**継続：M&A（新ビジネスエンジン）**

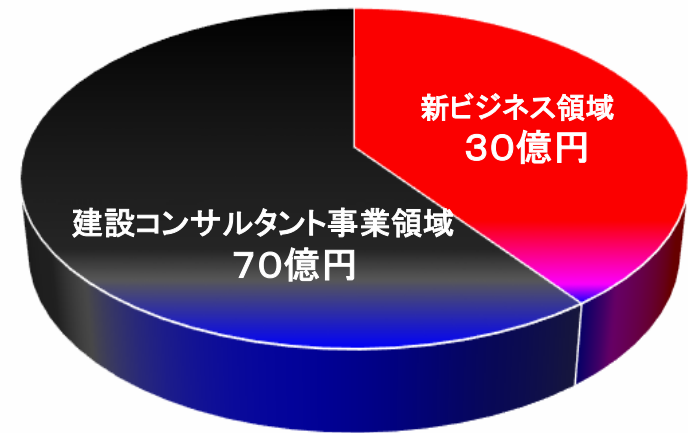
- ◇ 専門家の採用、外部委託 & 提携
- ◇ M&A事業選択活動中



**新設：新規事業推進室（新規事業エンジン）**



長期プラン目標売上高(H31. 6期連結)



売上高100億円規模の集団形成

## 4. 事業展開事例①：新規事業推進室（7月1日付け新設）の取り組み

◇専任技術者とインキュベーターの配置 ⇒ 3年後の本格事業化(市場投入)を目標  
 育成テーマ:官(公)民連携、事業運営、水環境、海外、ビッグデータ活用、モニタリング

### (1)実績①

#### ○官(公)民連携(業務進行中)

- ・地方創生関連業務、公共施設再編計画、公共施設総合管理計画など
- ・**地銀との連携**による業務遂行

#### ○事業運営(業務進行中)

- ・コミュニティサイクルの事業運営(JV)



### (2)実績②:水環境

#### ○治水・利水・環境計画の立案

- ・防災・減災対策
- ・環境保全対策

#### ○水理解析

- ・流動予測
- ・河床変動予測

### (3)実績③:海外

#### ○案件化調査からの取り組みを開始

- ・案件化調査2件受注(業務進行中)  
 (マレーシア:電子機器回収、貴金属類取出事業)  
 (ベトナム:港湾物流事業)
- ・新規2件提案中

案件化調査  
1年:3~5千万円

普及・実証事業  
1~3年:1億円~

### (4)取り組み

#### ○ビッグデータ活用事業

- ・通信系企業と当社開発の移動データ解析手法を活用した事業研究を開始

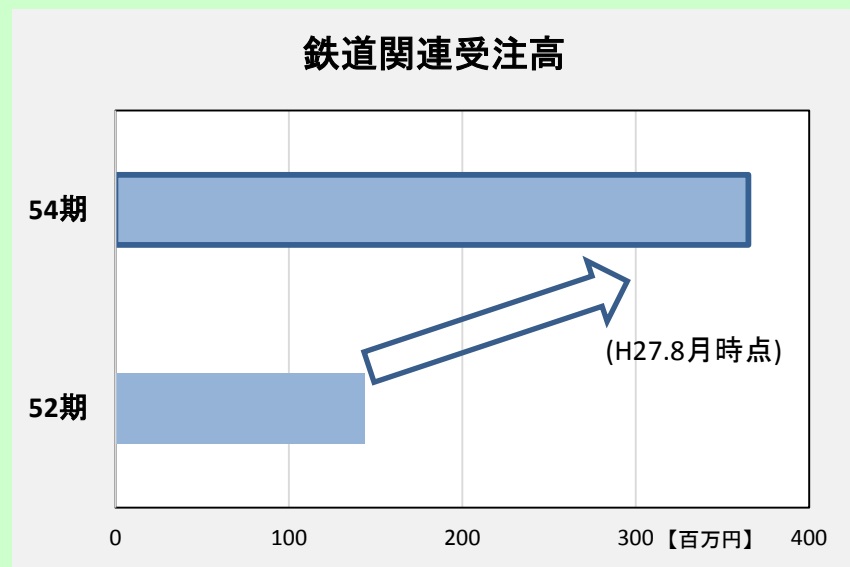
#### ○モニタリングシステム(HMB)活用事業

- ・県立公園で当社開発モニタリングシステムの実証実験中(内水氾濫モニタリング)

## 4. 事業展開事例②: 鉄道事業への取り組み

### (1) 受注業務量

○鉄道関連受注高: 2.5倍(52期比)



○主な受注実績(54期: 8月末現在)

- ・北陸新幹線関連:  
詳細設計、環境対策 (3億円)
- ・九州新幹線関連:  
詳細設計(0.5億円)
- ・中央リニア新幹線関連(0.3億円)

### ◆新幹線・リニア新幹線事業の現状

○北陸新幹線の延伸、北海道新幹線

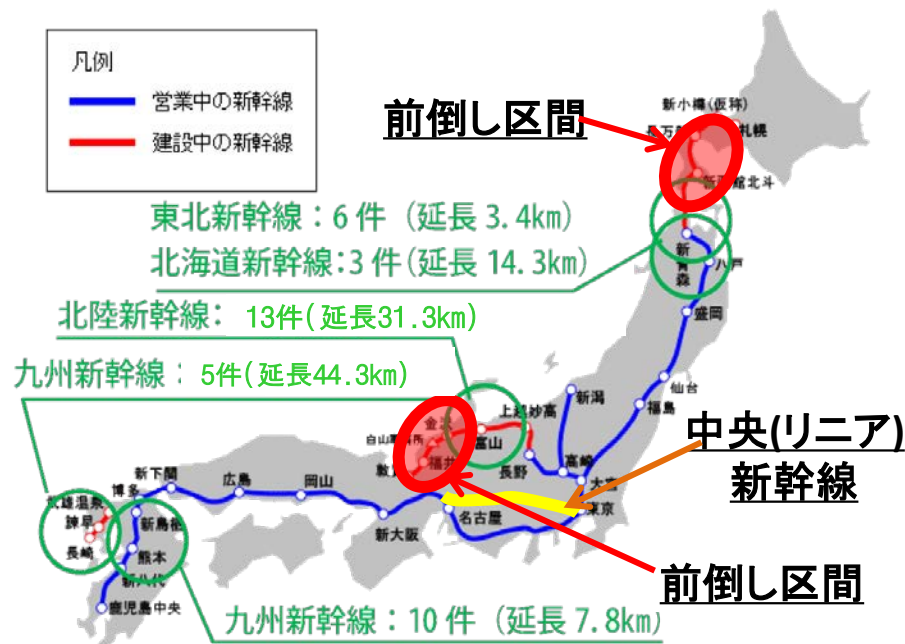
⇒事業前倒し

(北陸: 平成35年開業予定)

(北海道: 平成43年開業予定)

○中央(リニア)新幹線

⇒平成39年開業予定





## 4. 事業展開事例③： 維持管理・防災等事業への取り組み

### (1) モニタリングシステムの活用

- 戦略的イノベーション創造プログラム(国)の採択を受けた実証実験中

久留米大橋(国道3号)



### (2) 特許技術の活用

- 災害時道路整備効果を評価し、事業化に貢献。<伊豆半島>

#### ■ 使用した特許技術取得

- ・ 道路ネットワーク信頼性評価システム
- ※2015.2特許登録

### (3) 各種防災関連業務



県総合防災訓練の支援の例 ※JV受注案件

#### ◆ モニタリング関連業務の状況

- 関連業務受注高: 1.31倍(前年同期比)

※ 関連予算は対前年1.17倍の伸び